

ALSOKグループ決算説明資料 (2027年3月期第1四半期)

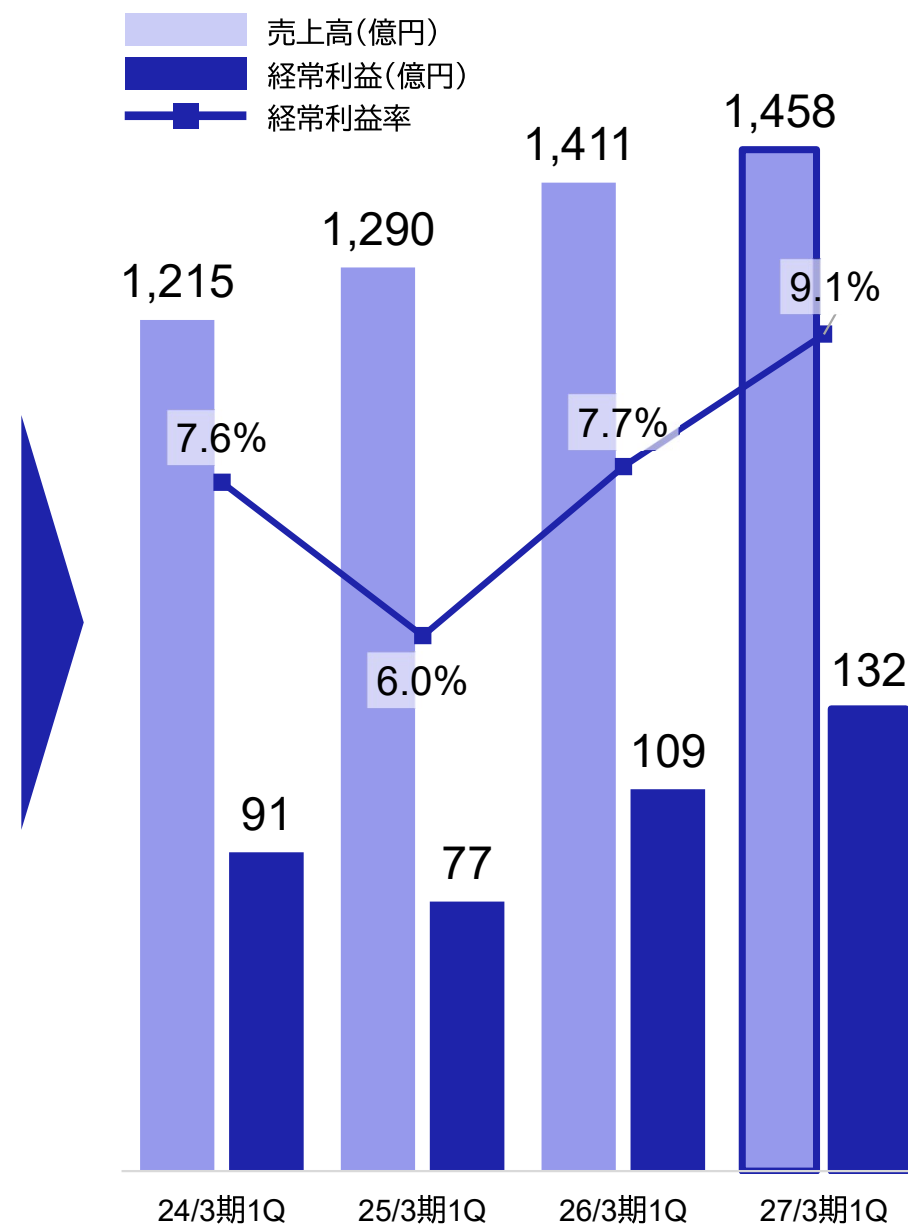
2026年8月4日

第1四半期決算のポイント

第1四半期として、売上高・各利益段階で過去最高を更新。

収益性も引き続き改善。
経常利益率は9.1%と前年同期比1.4pt改善。

日本ドライケミカルの子会社化に向けた公開買付けが成立し、手続きが順調に進捗。



2027年3月期第1四半期実績

2027年3月期第1四半期実績

■ 第1四半期実績

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率	27/3期 業績予想(※)
売上高	1,411	1,458	47	3.4%	6,375
売上総利益	339	367	28	8.5%	—
営業利益	104	120	16	15.4%	557
経常利益	109	132	23	21.5%	585
親会社株主に帰属する 四半期純利益	64	80	16	25.8%	373

※2026年5月12日に公表されている業績予想からの修正はありません。

セグメント別売上高・営業利益

売上高

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
セキュリティ事業	1,029	1,033	4	0.5%
FM事業等	177	206	29	16.4%
介護事業	136	141	5	4.3%
海外事業	68	76	7	11.1%
合計	1,411	1,458	47	3.4%

営業利益(率)

(単位:億円)

26/3期 1Q実績		27/3期 1Q実績	
109	10.6%	121	11.8%
16	9.2%	23	11.6%
6	4.7%	4	3.0%
▲1	—	▲1	—
104	7.4%	120	8.3%

セキュリティ事業売上高(内訳)

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
機械警備事業	438	441	3	0.7%
HOME ALSOK事業	61	64	2	4.3%
常駐警備事業	349	339	▲10	▲3.1%
警備輸送事業	178	188	10	5.6%

セキュリティ事業

機械警備事業、HOME ALSOK事業の概況

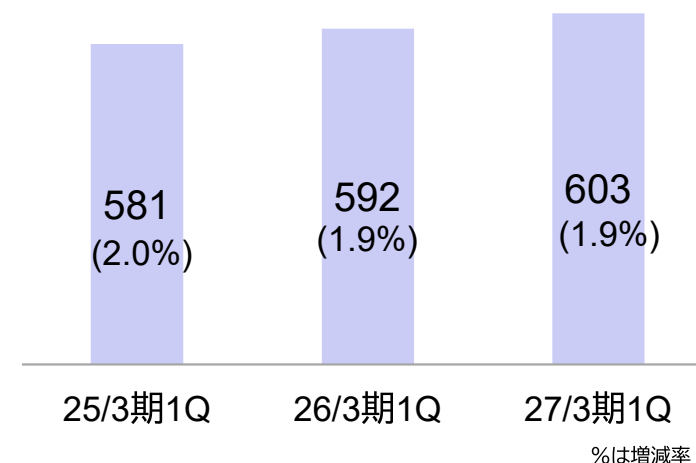
■ 機械警備事業

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
売上高	438	441	3	0.7%
契約収入	349	356	6	2.0%
工事収入	16	16	0	2.8%
売却収入	73	68	▲4	▲5.8%

契約件数(長期)推移

(単位:千件)



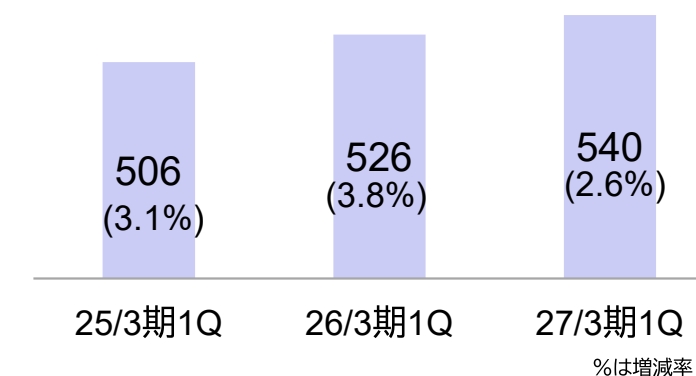
■ HOME ALSOK事業

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
売上高	61	64	2	4.3%
契約収入	48	51	2	5.4%
工事収入	1	1	0	8.6%
売却収入	11	11	▲0	▲0.8%

契約件数(長期)推移

(単位:千件)



セキュリティ事業

常駐警備事業、警備輸送事業の概況

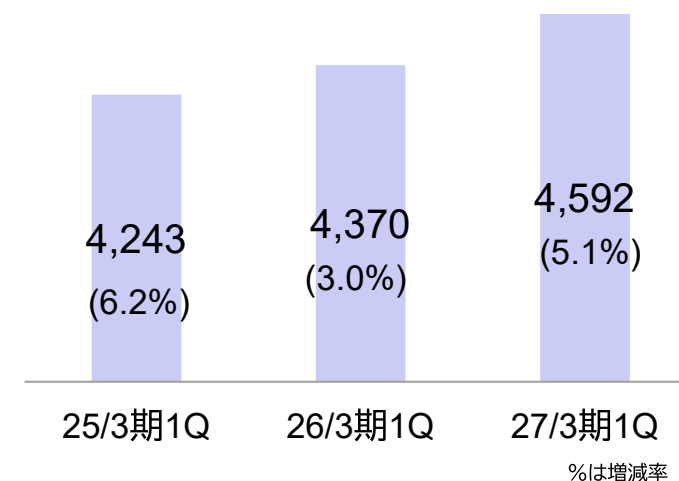
■ 常駐警備事業

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
売上高	349	339	▲10	▲3.1%

契約件数(長期)推移

(単位:件)



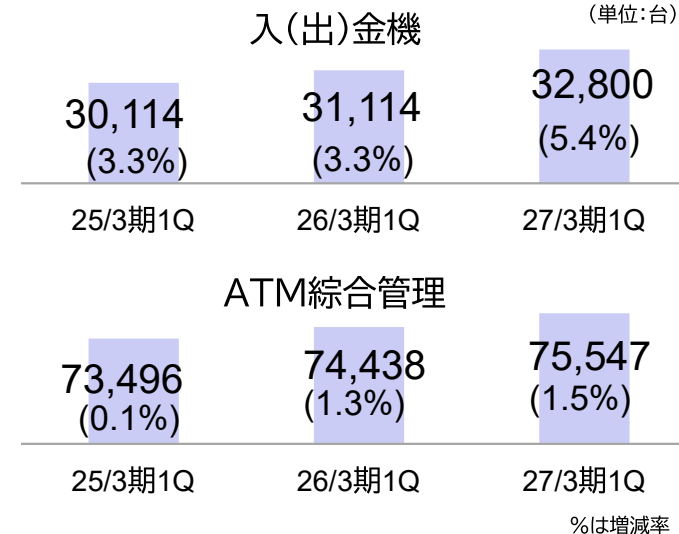
■ 警備輸送事業

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
売上高	178	188	10	5.6%

入(出)金機・ATM総合管理 台数推移

(単位:台)



FM事業等・介護事業の概況

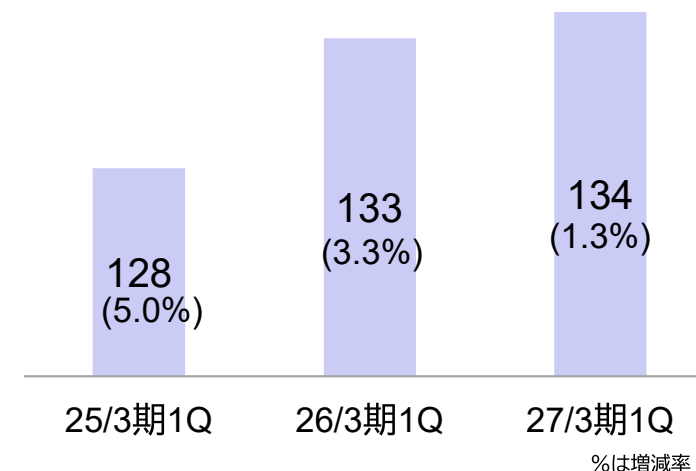
FM事業等

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
売上高	177	206	29	16.4%
契約収入	107	139	32	29.8%
工事	47	47	▲0	▲0.8%
売却	22	19	▲2	▲11.2%
営業利益	16	23	7	46.2%
営業利益率	9.2%	11.6%	—	—

契約件数(長期)推移

(単位:千件)



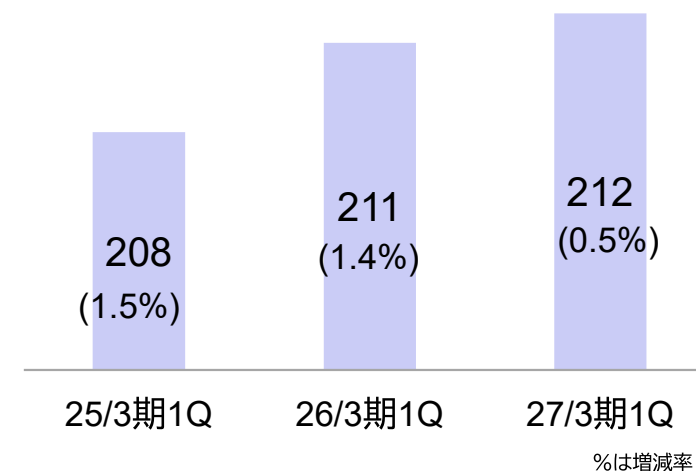
介護事業

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
売上高	136	141	5	4.3%
営業利益	6	4	▲2	▲32.3%
営業利益率	4.7%	3.0%	—	—

介護事業拠点数(施設数)推移

(単位:棟)



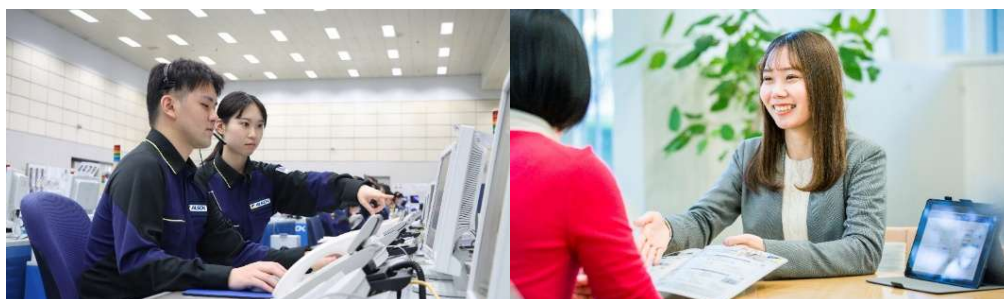
海外事業の概況

海外事業

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
売上高	68	76	7	11.1%
営業利益	▲1	▲1	0	—
営業利益率	—	—	—	—

海外拠点



機械警備事業

HOME ALSOK事業



常駐警備事業

警備輸送事業



FM事業等



介護事業



海外事業

2027年3月期 業績予想

2027年3月期 業績予想

業績予想

(単位:億円)

	26/3期 実績	27/3期 業績予想	前期比	増減率
売上高	5,970	6,375	404	6.8%
営業利益	469	557	87	18.7%
経常利益	499	585	85	17.2%
当期純利益	332	373	40	12.1%

※2026年5月12日に公表されている業績予想からの修正はありません。



ココ



あるる



ソックス

「ニャルソック」とは

元々猫好きの方達に使われている言葉で

猫が窓辺や高い場所から、まるで警備するように家の中や外を見ている様子を指します。

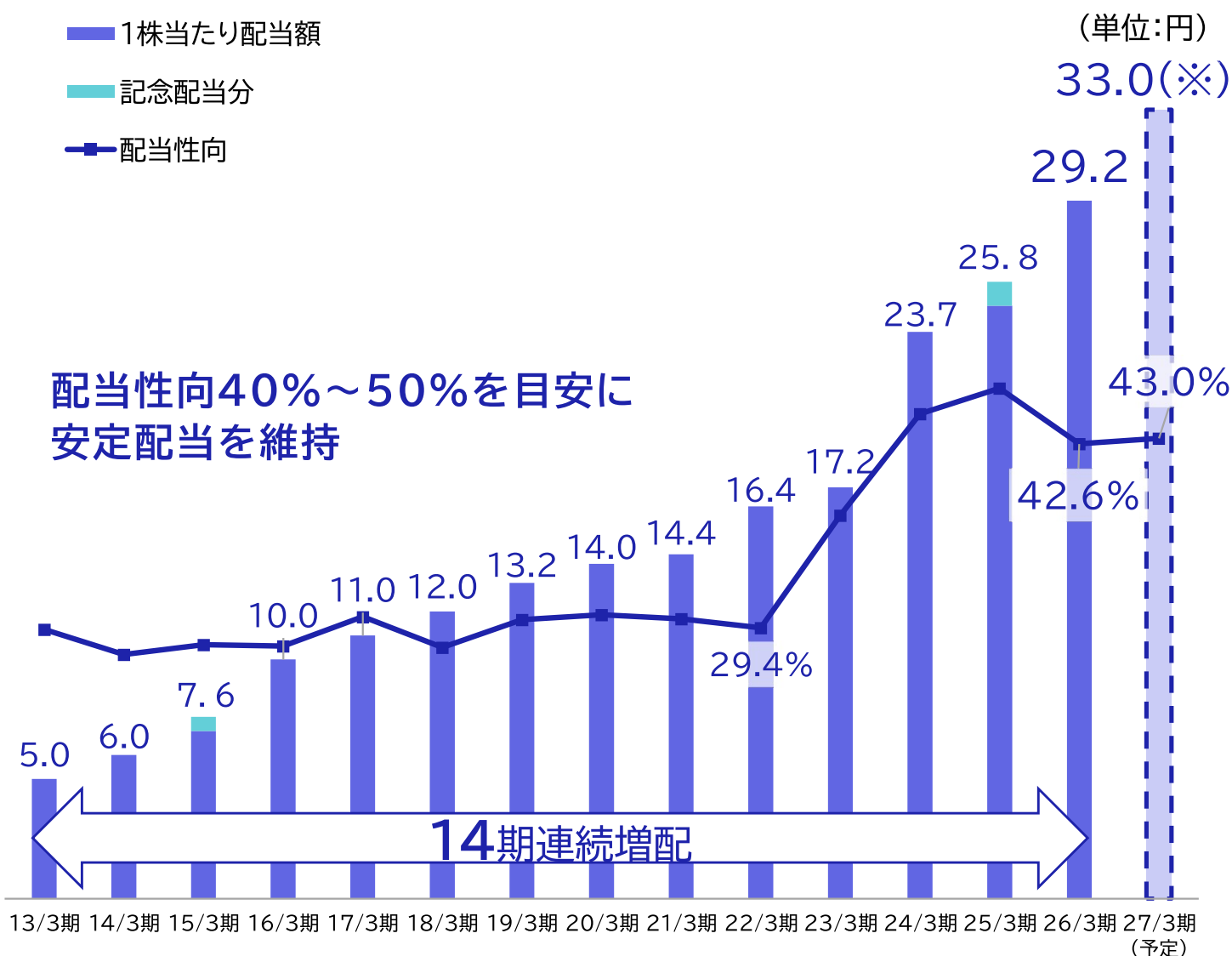
ALSOKではそこにヒントを得て「ニャルソック」という猫達のキャラクターに登場してもらうことにしました。

「ニャルソック」の活躍を通してALSOKが警備に限らず幅広く「ニャルソック」するのをお見せします。

株主還元

株主還元

一株当たり配当金の推移



2023年

7月 1:5の株式分割を実施
8~10月 自己株式の取得(約50億円)

2024年

5月 配当性向の目安を見直し
従来の30%→40%~50%
5~10月 自己株式の取得(約150億円)

2025年

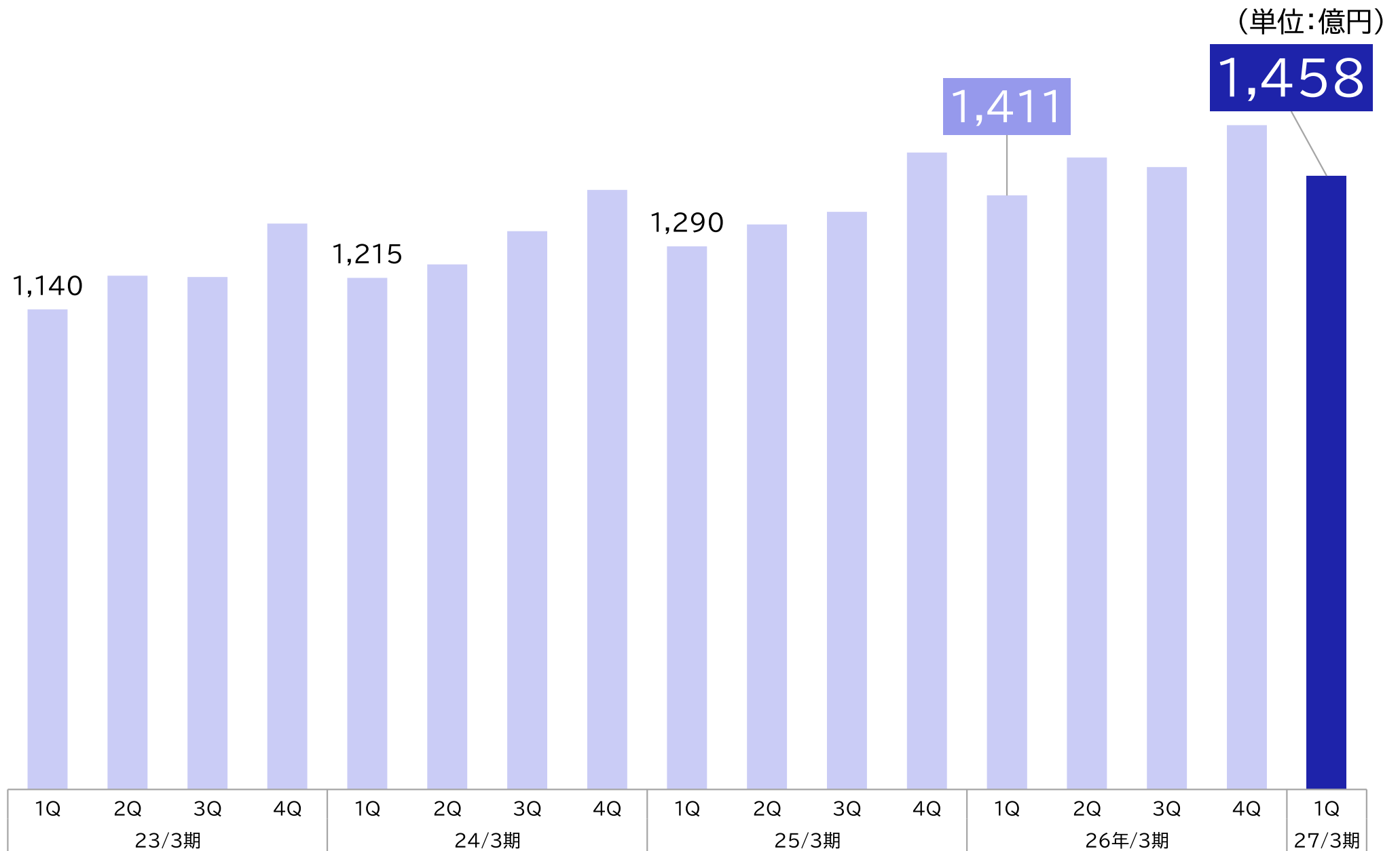
5月 創立60周年記念配当
(+1.0円)
11月 配当予想を上方修正(+2.0円)
(中間期 +1.0円
期末予想 +1.0円)

2026年

5月 自己株式取得を決定
(上限100億円)

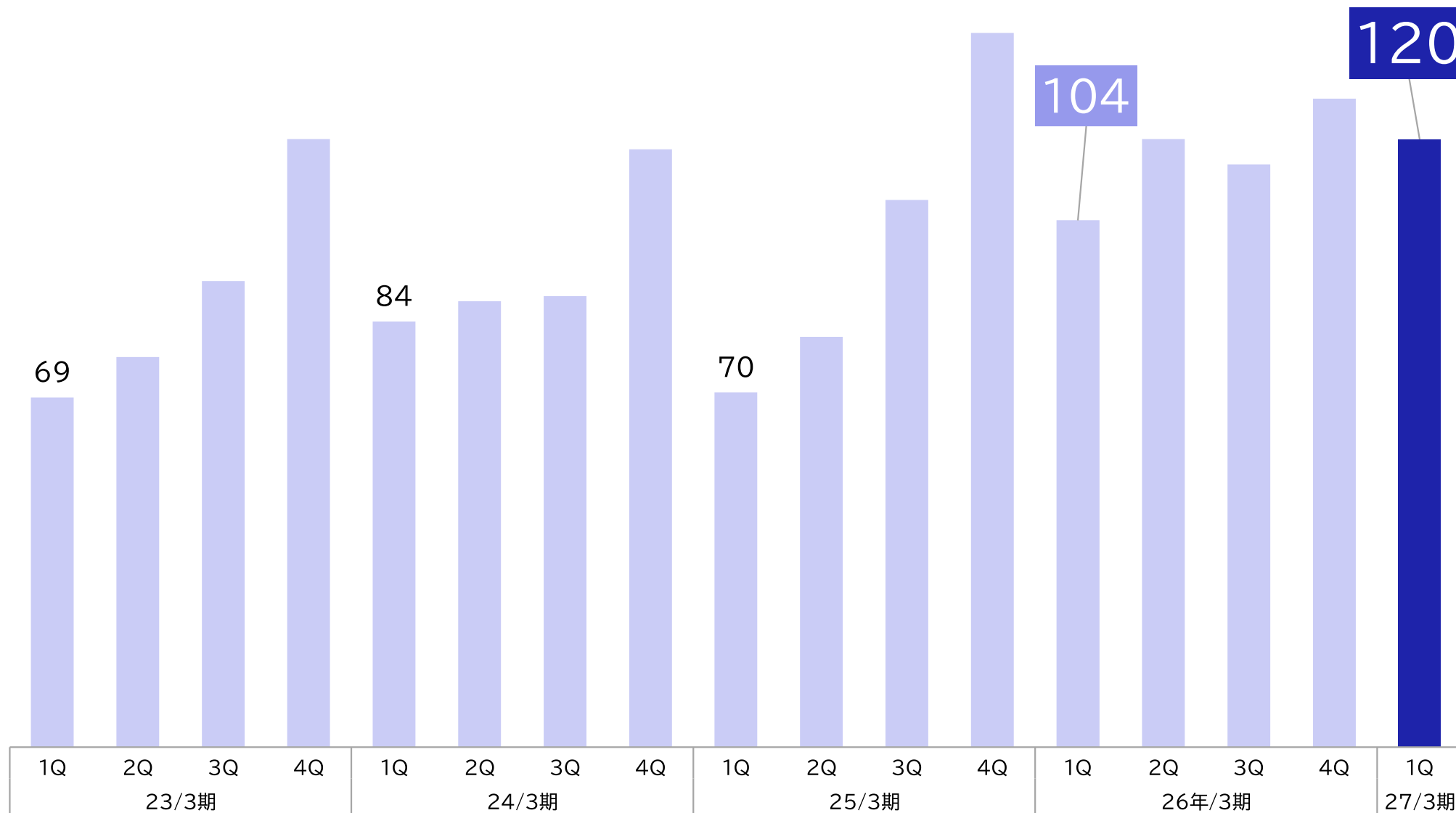
Appendix

連結売上高の推移(四半期毎)



連結営業利益の推移(四半期毎)

(単位:億円)



連結損益計算書

■ 実績

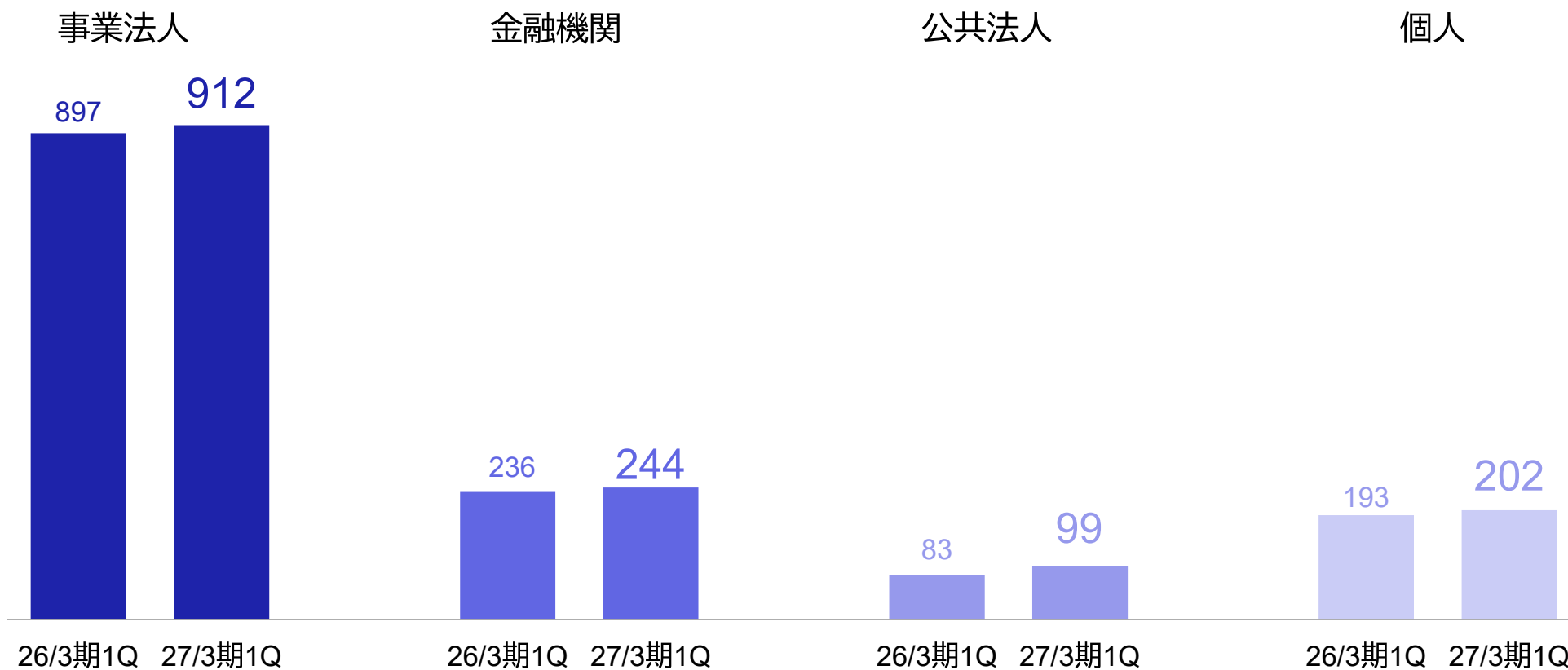
(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
売上高	1,411	1,458	47	3.4%
売上原価	1,072	1,091	19	1.7%
労務費	527	561	33	6.3%
外注費	176	170	▲6	▲3.6%
減価償却費	40	44	4	9.3%
その他原価	186	182	▲4	▲2.1%
工事・売却原価	140	131	▲8	▲5.9%
販売管理費	234	247	13	5.4%
広告宣伝費	6	9	3	44.1%
人件費	143	147	4	2.8%
減価償却費	9	8	▲1	▲13.2%
その他販管費	75	82	7	9.4%
営業利益	104	120	16	15.4%

顧客セグメント別 売上高の状況

■ 売上高

(単位:億円)



連結貸借対照表

■ 実績

(単位:億円)

	26/3期 末	27/3期 1Q末	前期末比		26/3期 末	27/3期 1Q末	前期末比
流動資産	2,978	2,622	▲356	流動負債	1,395	1,095	▲299
現金及び預金	777	780	2	支払手形及び買掛金	289	193	▲96
警備輸送業務用現金	883	723	▲160	短期借入金	372	139	▲232
受取手形、売掛金及び契約資産	731	590	▲140	その他	732	762	29
その他	585	527	▲57				
固定資産	3,771	3,908	136	固定負債	1,085	1,148	63
有形固定資産	1,459	1,534	74	長期借入金	124	123	▲0
無形固定資産	367	379	12	退職給付に係る負債	358	365	7
投資その他の資産	1,944	1,994	49	その他	603	659	56
				負債合計	2,480	2,244	▲236
				株主資本	3,308	3,316	7
				その他の包括利益累計額	527	540	12
				非支配株主持分	433	428	▲4
				純資産合計	4,269	4,285	16
資産合計	6,750	6,530	▲219	負債純資産合計	6,750	6,530	▲219

連結キャッシュフロー計算書

■ 実績

(単位:億円)

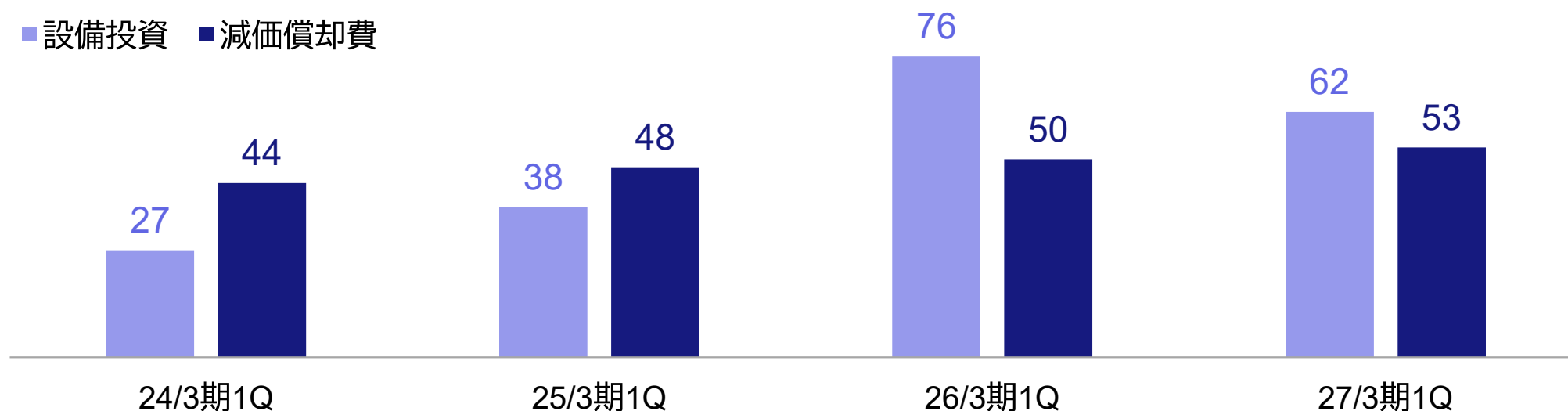
	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
営業CF	57	129	72	126.8%
投資CF	▲72	▲96	▲24	33.3%
財務CF	1	▲28	▲30	—
現金および現金同等物の 四半期末残高	585	672	87	14.9%
フリーCF	▲15	33	48	—

設備投資・減価償却費

設備投資・減価償却費の推移

(単位:億円)

■設備投資 ■減価償却費



前年同期比

(単位:億円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比	増減率
設備投資	76	62	▲13	▲18.0%
減価償却費	50	53	2	5.0%

基本情報

会社概要

会社名	ALSOK株式会社(証券コード2331)
本社所在地	東京都港区元赤坂1-6-6
設立	1965年7月16日
資本金	18,675百万円
関連会社数	連結子会社 92社 持分法適用会社 12社
社員数	連結 66,949人 単体 11,741人
主な業務内容	機械警備・HOME ALSOK・常駐警備・警備輸送・FM等・介護・海外



機械警備
契約件数

1,137千件

内訳:法人600千件
個人536千件



常駐警備
長期契約件数

4,556件



入(出)金機
稼働台数

32,166台



AED
累計販売台数

累計305,178台



「ALSOK
あんしん教室」
実施回数

累計62,895回



※2026年3月31日現在

経営理念とブランドステートメント

■ 経営理念

我々は、「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって事業を推進し、
お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす。

ブランドステートメント

ALSOKは創業以来、何事にも常に感謝を忘れない「ありがとうの心」と、どんな困難な状況でも自らを律し、相手への思いやりを欠かさない、強く、正しく、温かい「武士の精神」をもって、お客様と社会の安全・安心の確保に真摯に向き合ってきました。

そして、時代の流れや社会の変化により多様化するリスクやニーズに対して、ALSOKが果たすべき役割を追求してきました。

「ALwayS OK」という言葉には、私たちが進むべき「way(道)」があります。

「ALSOKがいれば、いつもOK、すべてがOK」と言っていただける存在になることを目指し、「自ら、必ずやり遂げる」という強い覚悟をもって、進化への挑戦を続けます。

「**ありがとうの心**」：人間はこの社会の中でお互いに生かし生かされているものであり、自分を取り巻くすべてのものに対し、謙虚にありがたいと思う感謝のこころ。

「**武士の精神**」：常に「秩序正しく、計画的に堂々と勝ち抜き、発展を図る」という精神。

ALwayS OK

会社設立から現在まで

業務関係

1965

設立



(吉田茂元首相と創業者夫妻)

1966

ビルメンテナンス業務開始

1967

機械警備業務開始

1971

警備輸送業務開始

1975

ATM管理システム稼働

1983

東京都公安委員会による警備業認定第一号を取得

レンタル方式のホームセキュリティ開始

1997

入金機オンラインシステム販売開始



2002

東京証券取引所市場第一部へ上場



2003

コーポレートブランドを「SOK」から「ALSOK」に変更

2007

海外進出(ALSOKタイ)

2012

東京スカイツリー警備開始
介護事業に参入

2015

東京夏季五輪
オフィシャルパートナー契約締結



2024

レスキューサービス
全国展開開始



2025

リブランディング
商号変更

● 1965年～

● 1970年～

● 1980年～

● 1990年～

● 2000年～

● 2010年～

● 2020年～

1965

ビートルズ武道館公演
警備



1970

大阪万博警備



1972

札幌冬季五輪警備

1979

先進国首脳会議警備
(第5回、東京サミット)

1981

神戸ポートピア'81
博覧会

1985

科学万博「つくば'85」
警備

1986

先進国首脳会議警備
(第12回、東京サミット)

1990

「国際花と緑の博覧会」
警備

1995

阪神・淡路大震災
大規模支援



2002

FIFAワールドカップ
警備

2008

洞爺湖サミット警備



2011

東日本大震災
大規模支援



2016

伊勢志摩サミット警備

2019

ラグビーワールドカップ
警備

2021

東京夏季五輪警備

2023

広島サミット警備

2025

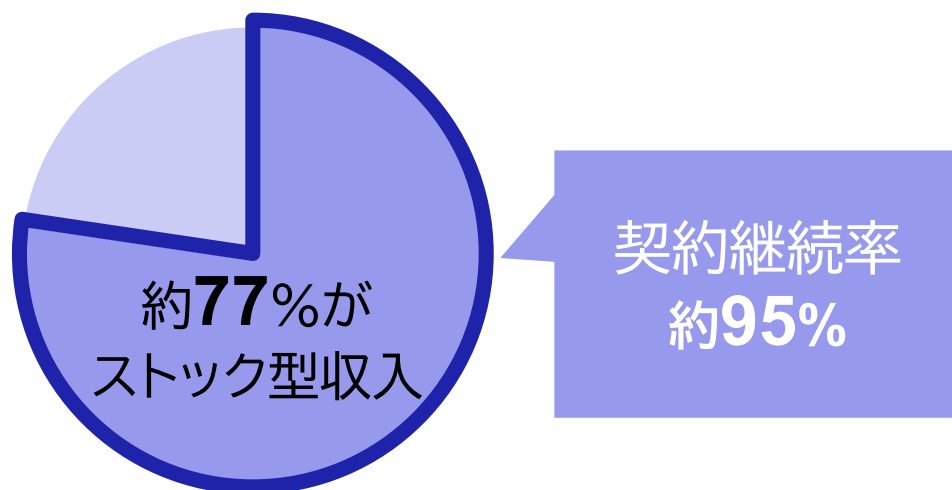
大阪・関西万博警備
東京2025世界陸上警備



イベント関係

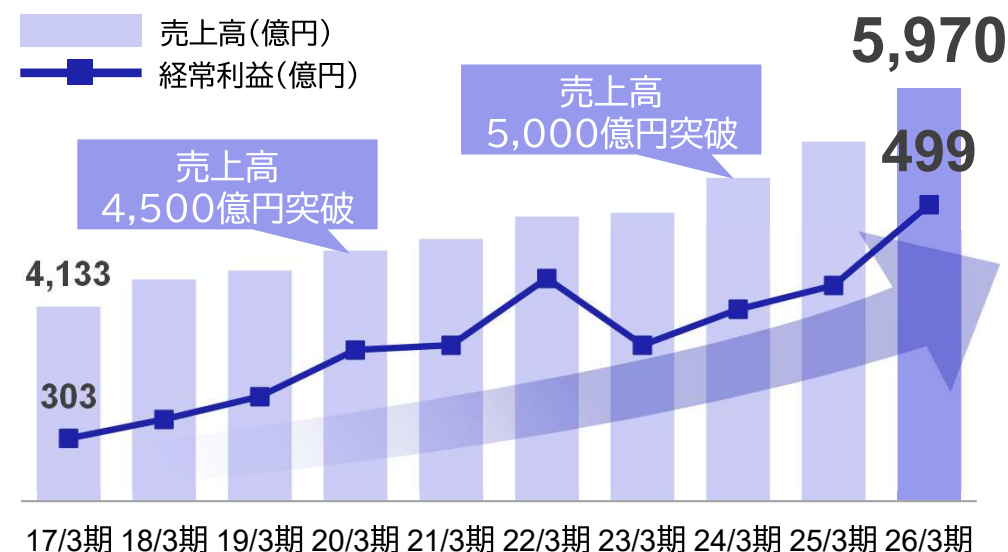
収益構造と強み

■ 持続的かつ安定的な収益構造



機械警備事業/HOME ALSOK事業の2026年3月期実績

■ 安定成長を継続



成長を支える3つの強み

ブランド

「安全・安心」を象徴する
ALSOKブランド

組織力

24時間365日・全国対応の
駆けつけ体制

お客様からの信頼

ストック契約140万件超
分散された顧客セグメント構成

持続的成長を通じた企業価値向上を実現